

HKFA Technical Report

平成28年度 北海道トレセンU-12強化キャンプ

開催日時

平成28年6月24日～26日

会場

札幌サッカーアミューズメントパーク
夢きたれ

報告者

尾見 秀樹(U-12責任者)
安田 秀憲(網走地区)

参加スタッフ

北原 次郎(JFA北海道)
松田 哉(JFA北海道女子)
浮田 あきな(JFA北海道女子)
尾形 行亮(JFA北海道GK)
星 和彦(千歳地区)
堀井 健仁(札幌地区)
熊谷 卓郎(北空知地区)
山下 真慶(小樽地区)
木崎 拓也(コンサ)
伊藤 公(北海道GKプロジェクト)
永田 塁(U-12会計)
菅原 和侑(トレーナー)

1 事業の概要

6月24～26日までの2泊3日で、札幌アミューズメントパーク(東雁来公園サッカー場)と夢きたれを会場に、24名の選手(FP 20名、GK 4名)を招集し、トレーニングとゲームを行った。

4月にエリートキャンプを経て、絞られた選手の合宿ということもあり、前回よりもリラックスした表情を見せ、楽しむように過ごす選手が多かった。また、8月に行われるFFPへむけて選手選考を行った。

2 トレーニングについて

初日のトレーニングでは、「テクニック」「守備」をテーマに行った。

「テクニック」では、まず、パス&コントロール(トライアングル)を行い、正確にプレーすることを意識させた。そして、徐々に動き出すタイミングや体の向き、コントロールの位置によるサポートの仕方などを積み上げていった。

次に、3v3+2サーバーを行い守備の意識を高めた。積極的にインターセプトをねらおうとする姿勢は見られたが、ボールウォッチャーになってしまい、ポジショニングが悪く、裏をとられてしまう場面も少なくはなかった。

最後に、5v5のゲームを行った。多くの選手が、攻守ともにトレーニングしたことを発揮しようと努力していた。



世界基準を日常に
日本のトップレベルを目指す北海道
5ブロックで一貫指導体制の構築



2日目は、アンフィニU13、フィールズU13とトレーニングマッチを行った。

「全員攻撃・全員守備」「ハードワーク」をテーマに、全選手が懸命にプレーした。

攻撃では、相手のゴール前で複数の選手が関わり、ゴールに繋げることができた。しかし、ビルドアップの段階では、ポジショニングが悪く、選択肢になれない場面もあった。

守備では、最初、中学生のスピードに対応するまでに戸惑うこともあったが、徐々に対応できるようになり、球際でも簡単に負けないように必死で体を張る場面も見られた。

途中、激しい雨によりゲームは若干短縮されたが、雨の中でプレーすることにより、ボールを止める蹴るなどの基礎技術がしっかりと身につけているかいないかが明確になったり、水たまりがある場所で、浮き球を使うのかそのまま進入してしまうのか等、考えてプレーしているかもあらわになった。雨天でのプレーの仕方を考えられるよい機会になったに違いない。



3日目は、各グループ対抗でゲームを行った。前日同様、「全員攻撃・全員守備」「ハードワーク」をテーマに行った。

F F P参加選手を決めるための最後のアピールの場ということもあり、選手達は、気を緩めることなく全力でプレーをした。



3 GKについて

4名のGKを招集し、トレーニングマッチに向けて、「シュートストップ」と「攻撃参加の意識」を高めるトレーニングを行った。今回招集した選手は、プレー中に味方へのコーチングやゲームに関わりが良さがあつた。

「シュートストップ」では、正しい構えや予測をしながら、ボール状況に応じた準備について確認をした。

「攻撃参加の意識」では、パス&コントロールでのボールの置き所について、常に選択肢が多くなるボールを持ち方を意識させてトレーニングを重ねた。また、ゲーム中にコーチングで攻撃の優先順位を考えさせることにより、視野を広くもつたプレーへとつながつた。

4 成果と課題について

サッカー尽くしの3日間の合宿を終え、レベルの高い選手同士が互いにより刺激を与え合える環境であつたと振り返ります。ピッチ内に限らず、宿舎での生活など、北海道を代表する選手の自覚をもって取り組んでいました。これはトレセン活動だけでなく、日常を支える各チームにおいてしっかりと指導がなされている成果だと感じております。選手には更なる高みを見て、目標を達成できるようスタッフは支えていきたいと考えています。

プレーでは、攻撃面でサポートの質やフィニッシュの意識（精度）が課題と感じました。守備面では、守備の原則が定着されておらず、ポジショニングが悪く裏をとられてしまう場面があつたり、前線の選手の守備の仕方に課題があると感じました。8月のF F Pでは、攻守共に、周りの状況をしっかりと観ながらプレーすることを少しでも修正したいです

最後になりましたが、貴重な時期に選手派遣にご協力いただいた各チームの指導者、保護者の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

